

科目名	デザイン実習 4A							年度	2026
英語科目名	Design Course 4A							学期	前期
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	中西八枝佳		教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築家・インテリアコーディネーター			
【科目の目的】 本科目は、戸建て住宅の設計を通じて、居住空間における総合的なデザインプロセスを実践的に修得することを目的とする。クライアントのライフスタイルや家族構成に基づいた空間構成（プランニング）および動線計画を立案し、機能性と審美性を両立させた住宅設計能力を養う。実際の商品やカタログを用いた具体的なマテリアル（内装材・設備・家具等）の選定プロセスを通じ、実務に即した素材の知識と、空間全体を統合するトータルコーディネート能力を修得する。									
【科目の概要】 インテリアのプランニングを含む応用的な内容について実習で学びます。									
【到達目標】 この授業ではより深いインテリアメーカーや商品知識を身につけ、人の暮らしを豊かにする住宅インテリアコーディネートに応用することができる。人に作品をプレゼンテーションし、お互いに講評し合うことができるようになる。									
【授業の注意点】 学生同士、教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中は積極的に取り組み、分からないことをそのままにせず解決する。自分だけで取り組まず、アイデアを人に伝え合うことができるようにする。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題技術40% 課題の表現技術を総合的に評価する。 課題内容40% 課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する。 プレゼンテーション10% 課題の発表技術、内容について評価する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン実習 4A			年度	2026
英語表記		Design Course 4A			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業について理解する	1 授業の流れの確認	学習目標を立てることができる	2	
2	ターゲット、テーマ、コンセプト	エスキース①	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 ターゲット設定	課題に合わせてターゲットの設定をすることができる		
3	イメージカラー ジュ、必要アイテム 選定	エスキース②	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 イメージカラージュ	家具の提案スタイルにおけるイメージカラージュを作成することができる		
			3 アイテム選定	提案スタイルに合わせて家具を選定することができる		
4	プラン作成、コンセプト 考案	エスキース③	1 プラン作成	アイデアをもとに図面を作成することができる	2	
			2 コンセプト立案	インテリアコーディネートコンセプトメイキングができる		
5	ショールーム見学	エスキース④	1 アイテム選定	提案スタイルに合わせて家具を選定することができる	2	
6	プランニング、商品 選定	エスキース⑤	1 プラン作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 アイテム選定	提案スタイルに合わせて家具を選定することができる		
7	プランニング、イ メージパース	エスキース⑥	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
8	中間プレゼン資料作 成	エスキース⑦、プレゼン ボード作成	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
9	中間プレゼンテー ション	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		
10	空間表現 (3D、 パース、模型)	エスキース⑧	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
11	商品リスト、見積	エスキース⑨	1 商品リスト作成	予算に合わせて家具を選定することができる	2	
			2 見積書作成	選定した家具の見積書を作成することができる		
12	ボードレイアウト①	エスキース⑩、プレゼン ボード作成	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
13	ボードレイアウト②	エスキース⑦、プレゼン ボード作成	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
14	最終プレゼンテー ション	プレゼン資料作成②	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
15	授業のまとめ	プレゼンテーション	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等